

宮城県ハング・パラグライディング連盟 2015 総会
議事録

出席者

尾形理事長・小野寺・近藤理事・及川・横田・鈴木・平間・事務局池辺(記)
代議員 10 名 (議長 菊池英治)
委任状 3 通 } 有効 13 名 / 16 名

議題 2014 活動報告・2015 活動計画について

● 県連への会員登録について

決定事項 : 県連会費入金時に登録する会員情報は名前のみとする。

経緯 : 住所・電話等の情報は県連に登録する必要があるかという問に対し、各クラブで責任をもってリスト化しているし、その情報はクラブ員間ですら共有していないので、県連に開示する必要はないということになった。

● 安全委員会の事故報告

決定事項 : 今後も事故報告情報の収集に努めるが、各クラブは事故が起こったらJHFの様式を使ってもいいので確実に安全委員会に事故報告を上げるようお願いしたい。またできれば安全講習会では事故当事者に話してもらえるといい。

経緯 : 事故リストはどのように作られたのかという問に対し、近藤理事がマスコミ情報・JHFレポート等でまとめていると回答。簡便なものではなく事前の環境や天候、本人の意見、周囲の意見など詳細なものが欲しいと意見あり。

● 救急救命講習

決定事項 : もし希望者があれば今年も実施する。

経緯 : 昨年実施したが今年は教員助教員の受講必要者が居ないため実施しなくてよいかとの安全委員会の問いに対し、教員助教員以外の会員も多いので実施してはと意見。ただ例年当該必要者以外からの申し込みはほぼ無いため、実施しても今年は申込者が無いおそれあり。

● 県体育協会への加盟

決定事項 : 現時点で加盟のメリットなし

経緯 : JHFからの依頼により広報委員会が県体育協会へ加入条件等の調査に行った内容について。加入条件として年 14 万程度の費用がかかるため、県連では加入困難ではないかと報告。

● 無料体験広報ポスター

決定事項 : QRコードを追加した上で業者発注、掲示につとめる。

経緯 : パラ自体の広報ポスター、無料体験に特化した広報ポスターの 2 種を考えたが、予算もあり今回は無料体験ポスターのみとした。(総会へ見本持参)総会后 20 枚製作し広報する。

● 無料体験の時期・回数

決定事項 : 現状どおり

経緯 : 広報につとめるため、年 2 回秋もやるのはどうかと意見あり。東北の場合秋に実施すると始めたいと思ってもらってもすぐシーズンオフになってしまうと回答、また無料体験はスクールにつながらない為あくまで情報拡散のためと割り切る必要もあり。

●大会の参加者レベル

決定事項 :条件は各大会開催担当に任せる。

経緯: うまっこ山電線に関する東北電力の条件に鑑み昨年うまっこ山大会は P 以上の参加のみとしているしオニコウバは NP 以上としているが、政宗リーグ全戦を競技前面にする必要はない。参加者レベルは各大会毎にエリアに応じて決める。

●予算

決定事項 :予算案どおり

経緯: 予備費が多くあることについて。なるべくゼロに近くすべき、予算が足りなければ講習会参加費を取るなどして年度内の収入で支出していくべきという意見に対し、予備費は減っている、今年と同じ事業規模なら来年には無くなると回答あり。

●県連会員

決定事項 :現状どおり

経緯: クラブに所属していても県連会員でない者がいる。また個人でフライトし県連会員でもない者も居る。JHFは必ず県連に所属しろとは言っていない。以前は県連会員以外はエリアでフライトさせないようにしようという動きもあったが、エリアは県連の管理するものではない。大会イベント等に参加できないなどあるが、所属するしないは個人の自由ということ。

役員改選について

決定事項 :現行役員はすべて立候補、推薦者 3 名あり、計理事 11 名監事 1 名

経緯: 規約(理事は 5 名～11 名、監事は 1 名)により、選定行為なしで決定。

理事長	尾形 梅三郎	泉ヶ岳	
副理事長	小川 健一	ホワイトテラス	
理事長	音羽 隆弘	泉ヶ岳	競技委員会
理事	及川正博	サンライフ	競技委員会(副)
理事	小野寺 幸則	サンライフ	安全教習委員会
理事	近藤 泰洋	サンライフ	安全教習委員会(副)
理事	菊池 英治	泉ヶ岳	安全教習委員会(副)
理事	横田三郎	泉ヶ岳	広報委員会・無料体験講習委員会兼務
理事	日下 敏彦	ホワイトテラス	無料体験講習委員会
理事	鈴木 克康	泉ヶ岳	会計・無料体験講習委員会兼務
理事	池辺 由加里	泉ヶ岳	事務局
監事	平間 嘉彦	ホワイトテラス	会計監査

以上